

磐城時報

日刊
編輯兼發行所 石城郡平町磐城時報社
印刷所 石城郡平町加納活版所
電話 二二三四番
郵政掛號 第一四七號
代金 一月三圓 三月九圓 半年一七圓 一年三三圓
廣告料 一行十四字 日金五拾錢
日刊(日曜、祭日)休刊

花爛漫の平町に 開かる、一大會合

第四回自動車協會總會 四千余名の消防檢閲

第四回縣下自動車協會總會は來りて舉行する事になつた。檢閲終る十九日平町に開催される事に各町村消防組では櫻花満開なつたが當日は關係者三百五十の松ヶ岡公園を中心として思ひ名參集午前十時第三小學校に集り、觀櫻會を開催する事とな合中里警察部長の臨席を得て會り恐らく當日は花見期間中最も議を開き、午後は松ヶ岡公園に賑はひを呈するであらうと期待於て園遊會を開き谷口樓に於て行はれる。

消防檢閲は

十六日の兩日平町消防組に於て觀櫻會を後松ヶ岡公園に於て觀櫻會を開く。

警中で舉行

平町警察署管内四町十八ヶ町村四千名の聯合消防檢閲は十七日平町で舉行の豫定であつたが二日魂祭を執行し在郷軍人分會主催繰上げ十五日平町警城中學校庭で劍道、銃劍の試合をなした。

平町の公會堂 明年五月には完成

村井知事に詳細説明

平町に公會堂設置の必要から工費五萬圓とし、その他は縣の補助を費五萬圓を以て七年度豫算に一仰ぐべく、尙郡下町村より寄附萬圓を計上し委員野崎滿藏氏外金五萬圓を見込んでゐる。縣六名を擧げ着々準備を進めてゐる費は今縣會で決定の運びとなつてゐるが、工費の内地元においては、敷地は團休事務所協空來年度に一萬圓を計上し都合二地一日村井知事の來平を機と

好問消防の 七年度事業

石城郡好問村消防組では過般幹部會を開き昭和七年度の事業として同村第一小學校庭に土盛をなす事、第二部地内に貯水池三ヶ所、上好問字町田附近に三ヶ所を設置する事になつた。

好問村忠魂祭

好問村では七日午前十時から郷社熊野神社境内で忠魂祭を執行した。

北目火防觀櫻會

平町北目町火防組では四月中旬火防觀櫻會をなし觀櫻會を催はす事になつた。

感心な運轉手 毎日のバットを節約して

福島號建造金に交附

平町二丁目三井自動車部三井留倉町字原田牛乳配達夫三浦政義吉方自動車運轉手小林清七(二)が發見四倉署に届け出たので三井は毎日バット一個宛を節約神長部長が出張檢視したが身元不明であつた。

身元不明の 乞食の死体

石城郡草野村大字泉崎字砂田地内石森川に年齡四十五六歳前後肉白骨の死体があるを三十一日四前七時半頃突然土砂崩壊して同り壓死を遂げた。

松ヶ岡公園に 点燈準備

平町消防組では來る十三、十四日頃から例年通り松ヶ岡公園と新川端に雪洞二千を取附け夜の櫻に美觀を添へる事となり目下準備中であるが、今年産業博覽會が各會場を中心として既に數百個の電燈を點じ又町内には各區の催で大路、小路に祝産博の雪洞千餘燈が一日夜から點じられたので櫻花満開の頃は全町は不夜城と化すだらう。

好問村忠魂祭

好問村では七日午前十時から郷社熊野神社境内で忠魂祭を執行した。

北目火防觀櫻會

平町北目町火防組では四月中旬火防觀櫻會をなし觀櫻會を催はす事になつた。

感心な運轉手 毎日のバットを節約して

福島號建造金に交附

平町二丁目三井自動車部三井留倉町字原田牛乳配達夫三浦政義吉方自動車運轉手小林清七(二)が發見四倉署に届け出たので三井は毎日バット一個宛を節約神長部長が出張檢視したが身元不明であつた。

身元不明の 乞食の死体

石城郡草野村大字泉崎字砂田地内石森川に年齡四十五六歳前後肉白骨の死体があるを三十一日四前七時半頃突然土砂崩壊して同り壓死を遂げた。

兩親も家もない 薄幸な少女の美擧

小使錢を節約して寄附 感心な高久の矢吹ミヨ(十六)さん

石城郡高久村大字下高久字龍前飯野、内郷の聯合水害豫防組合者矢吹サク方高久高等小學校一年では四日前十時から平町役場生矢吹ミヨ(十六)さんは父母に關係者集合し工事に關する打合せをなした。

小川江筋視察

平町外一町四ヶ村の水田千二百町歩へ灌漑する小川江筋は山腹を縫ふて設けられたゞけ毎年腫崩れ或は堤防の欠損等で莫大な修理費を要する。

水野石炭店の雇人 横領して鎌田で豪遊

川井醫師夫妻 醫學大會に出席

平町南町川井内科診療所川井重之、同安子夫人の兩氏は帯同して一日から名古屋市に開かれた全國内科醫學大會に出席中の處四日夕歸平した。

郡南の蔬菜

南町田方面では郡農會指導のもとに昨冬温床促成栽培組合を組織し農村不況打開の一助とし極少から蓄してゐる。

土砂崩壊して 人夫生き埋め

石城郡内郷村大字宮字平太郎地所に作業中の富田某内縁の妻鈴内山麓に於て土堀作業中四日午木サト(四六)は土砂の下敷となつて、今日午後一時頃発見され、生き埋めとなつた。

水害組合協議

平町南町田方面では郡農會指導のもとに昨冬温床促成栽培組合を組織し農村不況打開の一助とし極少から蓄してゐる。

郡南の蔬菜

南町田方面では郡農會指導のもとに昨冬温床促成栽培組合を組織し農村不況打開の一助とし極少から蓄してゐる。

水野石炭店の雇人 横領して鎌田で豪遊

川井醫師夫妻 醫學大會に出席

平町南町川井内科診療所川井重之、同安子夫人の兩氏は帯同して一日から名古屋市に開かれた全國内科醫學大會に出席中の處四日夕歸平した。

郡南の蔬菜

南町田方面では郡農會指導のもとに昨冬温床促成栽培組合を組織し農村不況打開の一助とし極少から蓄してゐる。

近刊豫告

平町案内 豫定定價一部二十錢
平町地圖 豫定定價一部三十錢
近日出来 願上りませう

マルトモ

柴田書店
電話 二三四番
五九七番

訂正

本紙第五千四百四十號掲載磐城中學校入學者は(成績順)とあるは、受験番號順の誤りにつき訂正す。

▲四倉局成績 四倉町 郵便局に於ける三月中の取扱左の如し。
貯金受入一千二百三十三口二萬六千二百六十二圓九千九百六十六圓、
拂出六百八十八口三萬六千八百八十三圓八千八百八十八圓、
三、五百五十二口五萬九千四百三十三圓、
拂出五百六十六口一萬一千九百四十三圓四十七圓、
貯金新規加入五十二口。

▲人力車体検査 平磐 警察署では四日前十時から平町人力車体検査を行った。

蠶業取締所

石城の蠶況

石城郡下の養蠶家は生糸の暴落によつて好況時の二割乃至三割位の減収となり桑園を廢して麥作に轉換するものが多くなつたので郡養蠶業組合は優良蠶種の分配布、稚蠶の共同、桑園の改良、金肥の共同購入、繭の共同販賣等極力養蠶業の改善に努め収入増しを圖つてをり、今春から平町に蠶業取締所の設立を見て一般沈滞せる養蠶業の獎勵開發をなすべく一方從來片倉製糸獨占のかたちであつたところへ茨城縣製糸の平町進出によつて幾分爾價の好轉を見越されてゐるので一部當業者間には早くも掃立増しが豫想されてゐる。

尼子自動車

老婆を轆く

平町二丁目尼子自動車部澤正路方運轉手喜多見武(三三)は三日午前八時頃内郷村級地内で行中の春田ウメ(五八)を轆き倒し全治二週間を要する重傷を負はせたので平署で取調中である。

▲好間消防豫習 石城 高値を見たが、生きた馬が一頭九圓でしか買手は全く少く、時から平町磐城中學校庭で消防隊の豫習を行ふ。

二歳駒糶況

一頭九圓もある

石城郡下馬産地山間部の一歳平町舊城跡ラジウム温泉旅館徳駒セリ賣は澤渡村中寺で三十日竹政右衛門方雇人新海市生れ鷲三十一日の兩日行つた、一日の津辰雄(二九)は三日朝主人の留平均は三十八圓、最高が五十一圓、最低は僅かに九圓。二日目時計を盗み逃走した處を平署大は平均四十圓、最高が五十二圓谷刑事が内郷村まで追跡し逮捕最低二十九圓で前日にくらべてした。

現金と時計

盗んで捕はる

横濱植木株式會社特撰

草花・蔬菜類

各種賣出し致しました。

農園藝藥品の御相談は
西村屋藥局
電話 三番

開業御披露

過般の火災で弊店も類焼致しましたが一時凌ぎのバラックが出来ましたので本日より開業する事になりました。何卒火災後の御同情と舊來の御愛顧にて倍舊の御最負御引立の程お願い致します。
尚ほ御出前も迅速に配達致します。
四月一日
平町田町

酒喜屋

男女中教名至急入用

電話一七一番

和洋銅鐵金物問屋

諸橋久太郎
電話 九九番

レコード破りの石炭大特賣

磐城炭 礦二等炭

正味十貫匁一俵金井錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は此度超破格の格安石炭を販賣開始致します。値が安くとも品は悪くはありません。磐城炭礦の處分的大掘出物です。品物の無くならない中に御注文下さい。
配達は一俵より致します。
御注文は
電話 三三七番へ
平町車場前
阿部石炭商店

油と味噌

福島縣平町
山崎合名會社
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五番
明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

吉田眼科病院

平町紺屋町 電話六八番

専門内科一般

〔内科ハ何デモ診療致マス〕
呼吸器病バカリデハアリマセン
平町南町六五改(電話一八二番)

川井内科診療所

醫學士 川井重子
女醫 川井安子

魚清食堂部

改築御披露

◆階上新築食堂は皆々様を御待ちしてゐます。何卒御立寄下さい
例年の通り

魚折詰……………二十錢より
壽司折詰……………二十錢より
本年の折箱は特に最新式の文化折箱を使用致します。
▽多数は特に御相談に應じます。
平町字二丁目
電話六三三番

世印魚店折詰部

電話六三三番

平看護婦會

會長 清野キヨ
平町字南町(電話三〇七番)
看護婦派出の需めに應じます